

清瀬市の学校教育・生涯学習の「今」をお伝えする情報誌

日本の「清瀬」から世界の "Kiyose" へ

教育委員会だより

# Kiyose

## きよせ

48号

平成28年(2016年)  
3月1日発行

特集

## 清瀬市成人記念式典 活躍する清瀬の中学生たち

掲載記事

1 清瀬市成人記念式典 2 生徒会交流会 3 第7回中学生「東京駅伝」大会 4 第4回突撃インタビュー  
清瀬の素敵な先生たち 5 読書交流会 6 新刊図書案内 7 郷土博物館30周年 8 第2次清瀬市教育総  
合計画マスタープラン検討中 9 平成27年度全国学力・学習状況調査結果より 10 第2回清瀬市総合教  
育会議が開催されました 11 平成27年度教育委員会表彰について 12 平成28年度中学校教科用図書採  
択結果について 13 教育委員会の動き 14 健康で生き生きした子供を育む食育をめざして



## 特集 清瀬市成人記念式典

去る平成28年1月10日(日)、新成人の門出を祝福するかのような晴天のなか、教育委員会主催により、成人記念式典が清瀬けやきホールで開催されました。今回、晴れて成人となられた市民は男性339名・女性360名、合計699名です。当日は404名の方にご出席いただきました。本年は初の試みとして、一部の式典と二部のアトラクションの間で、映像上映も行いました。今回は、そんな成人記念式典の様子をご紹介します。



### ～映像上映～

新成人に清瀬ならではの映像を見てふるさと意識を再認識してもらおうと、新成人と市が歩んできた20年間を「わがまち清瀬」と題して、10分程の映像を上映しました。上映は初の試みです。制作にあたっては、清瀬市社会教育委員を始め、市内で活動されている様々な方からご協力と、写真や映像などをご提供いただき、新成人をまち全体で祝福する内容となりました。



『わがまち清瀬』上映の様子

城野氏は清瀬から多摩地域を活性化させたい、フォークソングを次世代に歌い継ぎたいという想いで活動されています。新成人の多くが思い出深く感じる合唱曲「翼をください」では、参加型の演出でステージと会場が一体となり合唱するなど、素晴らしい内容となりました。

このように、清瀬の成人記念式典は、様々な方の協力のもと運営されています。今後も、将来の成人の門出を祝福できるよう、開催して参ります。

### 『来年のお知らせ』

平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれの方  
成人記念式典 平成29年1月8日

※詳しくは生涯学習スポーツ課まで ☎495-7001

### 一部 ～式典～

成人記念式典は、次世代を担う新成人が大人としての責任を自覚する通過儀式の場であり、大人世代からの祝福と期待を託す重要な機会です。新成人と大人社会のメッセージをしっかりと交換できる場づくりが大切となります。式典では、市長より式辞があり、教育委員長と市議会議長からお祝いのことばをいただきました。さらに、新成人を代表して2名の方に「20歳の抱負」を語っていただきました。

### ～清瀬の新成人～



抱負を語っていただいたのは、椎名爽夏さんと平野智士さん。社会人と大学生という立場の違う二人が、それぞれの思いを真剣に語ってくれました。

### 二部 ～アトラクション～



清瀬市出身のフォークシンガー  
城野兼一氏によるパフォーマンスが行われました。

## 特集 活躍する清瀬の中学生たち

### 清瀬の中学校から いじめをなくすために ～生徒会交流会



12月25日(金)、清瀬市内五校の中学校の生徒会役員の皆さんが清瀬第五中学校の図書室に集まり、「生徒会交流会」を開催しました。

この交流会は、各校の生徒会役員が自校の取組について発表するなど、互いに交流し合うことで、他校の活動の良いところを知り、それを参考にして、自分たちの学校の活動をさらにレベルアップさせることをねらいにしています。それぞれの学校からは、生徒会によるあいさつ運動、募金活動、校内放送の活用など、学校ごとに特色ある取組についての発表がありました。それぞれの生徒会役員は、自分の学校の生徒会活動をよりよいものにしていこうと、活発に質問し合っていました。

「いじめ」は、現代の中学生にとって避けることのできない重要な課題です。どうすればいじめを防ぐことができるのかについて活発な議論が交わされました。また、当日の話合いの中では、いじめの防止に向け、5校の中学校の全生徒が同じ理解で取り組んでいくため、「清瀬市立中学校いじめ撲滅宣言」についての話し合いも行われました。

この会議の内容に基づき、2月20日の「生徒会サミット」において、各校生徒会長によるパネルディスカッションを行い、『清瀬市立中学校いじめ撲滅宣言』の採択も行われました。5校の中学校の生徒会役員が先頭に立って、清瀬市からいじめをなくしていこうという意気込みが感じられた交流会でした。



#### 清瀬市立中学校 いじめ撲滅宣言

私たちは充実した学校生活を送る権利をもっています。いじめはその権利をうばうものです。いじめは、それをした人も、された人も、見ている人も、皆が傷付く悲しい行為です。人間は本来、やさしく人を思いやり、互いを認め合うことができるものです。私たちは、その優しさを表し、いじめに立ち向かう勇気をもつべきです。そして、一人一人が輝ける学校をつくるために、すべての生徒が協力して、すべての学校からいじめをなくしていくために、私たちはここに宣言します。

- 一. 私たちはどんな理由があってもいじめは絶対にしません。
- 一. いじめを見たら、自分達にできる最善の行動を考え、全力を尽くします。
- 一. 思いやりと笑顔にあふれる学校にします。



#### 第7回 中学生「東京駅伝」が開催されました

平成28年2月7日(日)、味の素スタジアムにおいて第7回中学生「東京駅伝」大会が開催されました。この大会は各区市町村から男女それぞれ選抜された中学2年生による駅伝競技で、寒空の中42名の中学生が練習の成果を十分に発揮しました。

#### 大会結果

男子 17位  
女子 39位



## 第4回 突撃インタビュー! 清瀬の素敵な先生たち

清瀬の小・中学校でがんばっている先生たちを紹介していきます。第4回は清瀬第七小学校の伊藤健太郎先生です。

- どのような仕事を担当していますか?  
特別支援学級の担任をしています。
- 先生になろうと思ったのはなぜですか?  
自分自身の小学校時代に楽しい思い出がたくさんあったので、小学校の教員になろうと思いました。教師を主人公にしたテレビドラマに影響を受けたこともあります。
- 清瀬第七小学校の児童のよいところを教えてください。  
明るく素直で、様々なことに意欲的に学ぼうとするところです。
- 児童と関わるときに大切にしていることは何ですか?  
ICT 機器等を活用しながら、子供たちにとって分かりやすい授業をすること。  
脳科学的な視点で子供たちのつまづきを分析し、よりよい学習の支援を創造すること。



Kentaro Ito

※詳しくは指導課まで ☎497-2552

## 清瀬市立図書館「読書交流会」

読書を通して市民の皆様の交流を図り、図書館を一層気軽にご利用いただこうと、昨年9月より中央図書館で「読書交流会」を開催しています。この「読書交流会」は、講師の方に一つの作品をご紹介いただく形式で、紹介される作品を全く読んでいない方にも参加いただける、ルールに縛られない自由な会となっています。

### 第1回 9月5日(土) 「21世紀の資本」トマ・ピケティ著 みすず書房



東洋大学名誉教授の小苺米清弘氏に、トマ・ピケティ著「21世紀の資本」を紹介していただきました。「21世紀の資本」は608ページの難解な学術書でありながら、欧米はもとより日本でもベストセラーとなり、関連図書や解説図書も多数出版されています。分かりやすい説明だったと、参加者の方に好評でした。

### 第2回 11月21日(土) 「お伽草紙」太宰 治著 新潮社(新潮文庫)

太宰治を研究されてこられた藤森幸子氏に「お伽草紙」の中的一篇「浦島さん」についてお話をいただきました。「人間失格」「晩年」などの作品により、暗いイメージのある太宰治ですが、戦時中に執筆された「お伽草紙」は、語り継がれてきた民話を太宰流に伸び伸びと解釈し直した作品で、亀の饒舌を分析した藤森氏のお話に、参加された皆さんも大いに興味を持たれたようでした。



### 第3回 3月12日(土) 「結核のことご存知ですか」

結核医療の歴史に清瀬市の病院は非常に大きな役割を果たしてきました。そんな結核医療関連図書や結核を扱った文学作品を集め、中央図書館に結核関連図書の常設コーナーを2月に設置しました。このコーナー設置に合わせて、結核研究所の中にある図書館の司書佐藤和美氏に「結核のことご存知ですか」と題して、結核医療の歴史と現状、結核予防会会長だった青木正和氏の「結核の歴史」、青木氏の義母にあたる幸田文著「おとうと」等の結核に関する図書を紹介していただきます。

今後も皆さまの関心がありそうなテーマ、あるいは中学生に限定したテーマ等の読書交流会を検討していますので、興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

## 新刊図書

2015年12月発行

【10代の脳】 フランシス・ジェンセン著 エイミー・エリス・ナット著 野中 香方子 訳 文藝春秋  
反抗期や喫煙、ドラッグ、デジタル中毒など、思春期に起こる諸問題を、脳科学の立場から解説しています。10代の子供の対処法を提示しています。[駅前図書館所蔵]



【西武沿線の不思議と謎】 実業之日本社(じっぴコンパクト)  
秋津駅と新秋津駅をつなぐ貨物の路線がありました。大泉学園という学園はないのに、なぜ駅名になっているのでしょうか。西武線についての雑学や駅名の由来を知ることができます。[駅前図書館所蔵]



【日本兵捕虜はシルクロードにオペラハウスを建てた】

葛 信彦 著 KADOKAWA

ウズベギスタンのオペラハウス、ナボイ劇場は、シルクロードに抑留された日本兵捕虜によって建設されました。堅牢な造り、美しい内装は、現地の誇りにもなっています。戦争を違う側面から捉えたドキュメントです。[中央図書館所蔵]



# 郷土博物館開館 30 周年



郷土博物館  
マスコットキャラクター  
ひいらぎちゃん



開館当時の博物館遠景

## 博物館の開館時の様子

1985年(昭和60年)に開館した当館は、「市民の皆さんに、ふれあいと参加の場を提供し、新しい清瀬を発見、創造していただくこと」を目的に設立されました。「見て・触れて・体験する博物館」として、美術家の作品を直近で鑑賞できるギャラリー、歴史や文化を学べる展示室のほか、館内にある伝承スタジオでは昔の農家を象徴する土間や囲炉裏を再現した中で郷土料理や民俗行事が体験できるようになっています。開館当時としては斬新な体

験型博物館となりました。武蔵野の雑木林を再現した木々や野草に囲まれた、シルバーグレイの建物は昭和62年に東京建築賞最優秀賞を受賞し注目を集めました。30年を経て、周りに植えられた木々はさらに成長し大きくなっています。



昨年の事業体験の様子

## 体験事業の今昔

開館した当初より伝承スタジオで、地域の方々を講師として清瀬の郷土料理であるうどんや、ゆで饅頭、焼きだんご、餅つきなどの料理や試食体験、小麦の棒打ちなどの伝統行事を通じて地域社会の形成を提供する場として重要な役割を担っています。また、博物館の収蔵品である高機を用いた裂織体験は清瀬で昔行われていた機織り技術を伝える機会となっています。

## 展示会・企画展を振り返って

郷土博物館では開館以来の恒例の展示会となっている清瀬美術家展をはじめ、多くの企画展を実施し、その数は80回を超えています。過去には「東海道棟方版画展」、「山下清—その生涯と作品展」など著名な作家の作品展も実施しました。近年は市内や周辺地域にお住いの美術家、芸術家の方々の作品展を実施しています。常設展示においてもこれまで約20回の展示替えを行っており、市民の皆さんに収蔵資料を通して清瀬を学んでもらえる場となっています。



## 博物館のサポート活動など

博物館の事業は博物館の職員のみで運営できるものではありません、これまで当館では地域の皆様のサポートのもとに事業が行われており、伝統行事では各地域の町会、婦人会などに講師の依頼をしてきました。博物館の開館に先立ち発足した「清瀬市郷土博物館友の会」には企画展の会場受付、警備などのボランティア、博物館が管理するケヤキ・ロードギャラリーでは「ケヤキ・ロードギャラリーを愛する会」や「清瀬けやきロードギャラリーきれいにし隊」による彫刻やその周辺の美化活動、昭和61年に発足した「はたおり伝承の会」には体験教室などに多大な御協力をいただいています。また平成24年からは、将来の博物館職員を目指す学生を対象にした学芸員パートナーシップ制度を導入して、教育普及活動の一助を担ってもらっています。



学芸員サポーターの作業風景

## 博物館の今とこれから

博物館では、開館以来清瀬市に関わる資料は基より、多くの歴史資料・民俗資料・美術品の収集・保存に努めてきました。市民の皆さんには数多く資料を御寄贈・寄託いただき、今では1万点を超える資料を収蔵し、年々、増加しています。現在こうした資料の再整理・点検作業・保存作業による、将来の公開・活用に向けた業務を行っています。

開館後30年は過ぎましたが、次の30年に向けて、郷土愛を育み未来を創造する場として、郷土博物館はこれからも歩み続けます。

※詳しくは郷土博物館まで ☎493-8585

## 第2次清瀬市教育総合計画マスタープラン検討中

清瀬市教育委員会は、教育基本法第17条第2項に基づく教育振興基本計画を、清瀬市教育総合計画マスタープランとして定めています。本計画は平成27年度に計画終了年度を迎えますが、市の最上位計画である「第4次清瀬市長期総合計画」が平成28年度に策定され、この方針を次期教育計画に取り入れるため、計画期間を1年間延伸しました。平成29年度を計画の開始年度とした、第2次清瀬市教育総合計画マスタープランの検討を昨年12月からスタートしています。

### 検討委員会とは

帝京大学大学院中田正弘教授を委員長とする、各教育関係団体の代表や市民公募の委員4名を含めた17名の委員による会議を経て、教育長に答申をします。

現在3回の会議が行われ、各委員からは清瀬の教育に対する熱い思いのもと、白熱した議論が展開されています。

市民の皆様からのご意見をいただくパブリックコメントを経て、平成28年9月には新たな教育計画が策定される予定です。



会議の様子

※詳しくは教育総務課まで ☎497-2537

## 平成27年度全国学力・学習状況調査結果より

	教科名	平均正答率(%)	
		清瀬市	全国
小学校	国語 A	67.7	70.0
	国語 B	62.0	65.4
	算数 A	72.3	75.2
	算数 B	43.9	45.0
	理科	56.8	60.8
中学校	国語 A	76.1	75.8
	国語 B	64.6	65.8
	数学 A	65.5	64.4
	数学 B	42.8	41.6
	理科	50.0	53.0

### 国語A・算数A・数学A

基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

### 国語B・算数B・数学B

基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

### 理科

基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題及び基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

清瀬市の小・中学校では、全国学力・学習状況調査の結果を受けて「授業改善推進プラン」を作成しています。「授業改善推進プラン」には、各教科の課題に対する具体的な改善の手立てが示されています。詳しくは、各小・中学校のホームページでご覧になれます。

また、清瀬市教育委員会では、児童・生徒の学力を高めていくために、平成26年度より学力向上に関わる話し合いの場を設けています。市内小・中学校の管理職や教員等が集まり、清瀬市における学力向上へ向けての課題分析を行い、指導方法の工夫改善に努めています。

※詳しくは指導課まで ☎497-2552

## 第2回清瀬市総合教育会議が開催されました

平成28年2月19日（金）に第2回清瀬市総合教育会議が開催されました。

会議は第1回に引き続き、清瀬市教育大綱について話し合われ、新たに策定された清瀬市長期総合計画の考え方を踏まえながら、現行の清瀬市教育総合計画マスタープランを継承していくことが確定しました。

また、いじめ問題についても話し合われ、「清瀬市いじめ防止基本方針」に基づき、清瀬市・学校・保護者・地域が緊密に連携し、社会総がかりで取り組むことで、いじめの根絶に努めることが確認されました。

## 清瀬市教育大綱とは

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行されたこととともない、地方公共団体としての教育政策に関する方向性を明確化することを目的に市長が策定するものです。総合教育会議により市長と教育委員会が協議・調整を尽くし、今回策定されました。

※詳しくは企画課まで ☎497-1802

## 清瀬市教育委員会表彰について

※詳しくは教育総務課まで  
☎497-2537

清瀬市教育委員会表彰は、清瀬市教育委員会表彰規則により、清瀬市の教育及びスポーツ、文化の振興発展に貢献し、その功績が顕著なもの並びに他の模範となる成績又は行為のあったものに表彰するものです。

清瀬市教育委員会表彰審査会により決定した受賞者の表彰式が、平成28年2月5日（金）に執り行われました。8人2団体の受賞者たちは、晴れやかな表情で松村教育委員長より賞状・盾を受け取りました。

(敬称略)

小林 駿斗	科学部門
渡辺 亮太	科学部門
久寿米木 美空	スポーツ部門
濱野 優一	スポーツ部門
今里 陽士	スポーツ部門
降矢 麻由	芸術文化部門
佐藤 美央	小中9年間無欠席
加藤 彩香	小中9年間無欠席
サタデークラブ キックサッカー	10年以上無償ボランティア
六小見守り隊	10年以上無償ボランティア



## 平成28年度 中学校教科用 図書採択結果について

平成27年8月の定例会教育委員会で、平成28年度に使用する中学校の教科書が採択されました。

国語	光村図書	理科	東京書籍
書写	光村図書	音楽	教育芸術社
地理	帝国書院	器楽	教育芸術社
歴史	東京書籍	美術	日本文教出版
公民	東京書籍	保健体育	学研教育みらい
地図	帝国書院	技術家庭	開隆堂
数学	東京書籍	英語	三省堂

※詳しくは指導課まで ☎497-2552

## 教育委員会の動き

平成27年9月から平成27年2月までの審議状況をお知らせします。この間に定例会を6回、臨時会を1回開催しました。議決された議案は下記のとおりです。

- 清瀬市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について
- 清瀬市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について
- 清瀬市教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則について
- 清瀬市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について
- 清瀬市教育委員会の権限委任等に関する規則の一部を改正する規則について
- 清瀬市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
- 清瀬市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱の一部を改正する要綱について
- 清瀬市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱の制定について
- 清瀬市社会教育委員の選任について
- 清瀬市郷土博物館協議会委員の選任について
- 平成27年度清瀬市教育委員会表彰について
- 清瀬市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
- 平成28年度清瀬市教育委員会教育目標について
- 清瀬市教育委員会が保有する個人情報の保護等に関する規則について

※詳しくは教育総務課まで ☎497-2537

# 健康で生き生きした子どもを育む食育をめざして

## ～清瀬市食育アンケート結果から見えてくる課題～

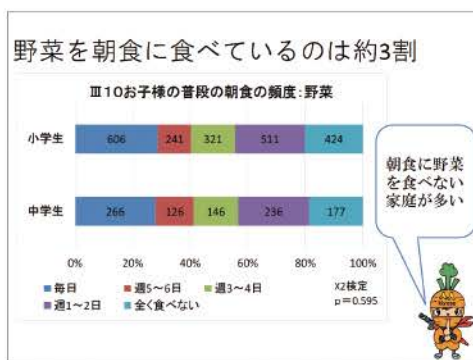
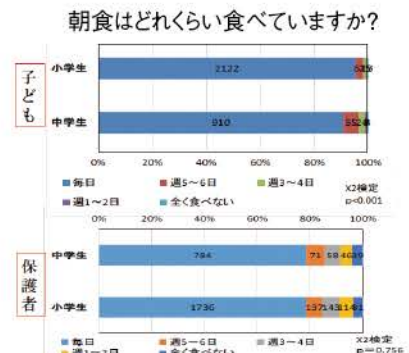
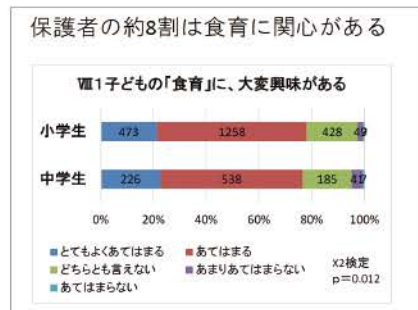
清瀬市教育委員会では昨年神奈川県立神奈川工科大学教授 饗場 直美先生の協力で、朝食などに関するアンケートを度実施しました。

### 調査方法

- 対象者：清瀬市内小中学校に通学している児童・生徒（5191名）の保護者
- アンケート配布方法：学校から保護者に児童を通してアンケートの配布および回収
- アンケート配布数：5191名
- アンケート回収率：3779名（72.8%）
- 有効アンケート数：3233名（62.3%）

	人数	%
母	3032	93.8
父	108	3.3
祖母	22	0.7
祖父	2	0.1
その他	16	0.5
未記入	53	1.6
計	3233	100

皆様、ご協力ありがとうございました。



アンケート結果の中から、ほとんどの子供は毎日朝食を食べていましたが  
 ①朝食を食べていない子供もいること ②大人になるにつれ朝食を食べない割合が増えてくることが分かりました。朝食の大切さ、野菜を取り入れたバランスの良い食事、いっしょに食べることの大切さ、学校と家庭の協働の課題が見えてきました。今年度は小・中モデル校で、課題解決のための授業が行われました。

## 食育のポイント

- ①食事の重要性（食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。）
- ②心身の健康（心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理する能力を身に付ける。）
- ③食品を選択する能力（正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。）
- ④感謝の心（食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。）
- ⑤社会性（食事のマナーや食事を通じた人間関係をつくる力を身に付ける。）
- ⑥食文化（各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。）

学校給食の献立は、年間を通して行事や教科等と関連させて立てられています。そして、栄養士さん調理員さんは「みんなと食べるおいしい給食」「体験教育としての意味のある給食」を大切に、日々給食提供しています。

健康な体を作るために、自分の体に見合った量をバランスよく作って食べる。子供たちの自立した食習慣を確立することを目指して、これからも学校と家庭が協働して食育に取り組んでいきましょう。

「おいしい給食レシピ」清瀬市教育委員会 HP に掲載中。  
 ※詳しくは教育総務課学務係 497-2539



## これからの食育のキーワード

- （饗場 直美先生の講演より）
- ・食育に興味を持とう。
  - ・みんなで一緒に食べよう。
  - ・みんなで食べると  
食事のバランスが良くなる。
  - ・家族で健康になろう。
  - ・なにより調理や食事を楽しもう!!

◆本紙の音声版をウェブサイトにて配信しています。また、秘書広報課で音声版を収録したCDを貸出しています。

編集・発行

清瀬市教育委員会

電話 042-492-5111（代表） FAX 042-495-3940

ウェブサイトURI <http://www.kiyose.ed.jp/>

教育委員会だより きよせ

検索

本紙へのご意見・ご感想をお寄せください。